

会議録

会 議 名	平成22年度 第3回 八王子市地域保健福祉推進協議会	
日 時	平成22年9月1日(水) 午後1時30分～3時30分	
場 所	八王子市大横町11-35 大横福祉センター 2階会議室	
出 席 者	委 員 (敬称略)	大山博(会長)、赤上晃(副会長)、沖清司、小野塚幸子、佐々木武磨、塩澤迪夫、高瀬礼子、多田靖史、土居幸仁、野山修、早川満、室岡喜代二、山口幸男(13名)
	事 務 局	小林 健康福祉部長、小坂 高齢者・障害者担当部長、遠藤 健康福祉総務課長、塚本 高齢者支援課長、石黒 介護予防・地域包括担当主幹、伊比 地域医療推進課長、設楽 保健総務課長、木内 介護保険課長、保健センター所長/代理・瀧川専門幹、志村 大横福祉センター館長・田中課長補佐、佐藤 東浅川保健福祉センター館長(12名) 田島、新藤、小林(健康福祉総務課・3名)
欠 席 委 員 (敬称略)	平川博之、平塚美臣、前田信一(3名)	
議 題	1 保健医療・福祉に関する協議事項について (1) 八王子市の保健医療・福祉の概要 (2) 保健福祉推進拠点の整備について 2 その他	
公開・非公開の別	一部非公開	
非 公 開 理 由	議題1(2) 保健福祉推進拠点の整備について 会議の公開に関する指針 第5(6)に該当するため。	
傍 聴 人 の 数	なし	
配 付 資 料 名	(当日配布) 地域保健福祉推進協議会の考え方 (資料1) 八王子市の保健医療・福祉の概要 (資料2) 一般会計・決算の額(民生費・衛生費) (資料3) チャレンジ型保健福祉センターへ(イメージ図) (資料4・非公開) 総合的な保健福祉センターを実現(イメージ図) (資料5・非公開)	

<p>会議の内容</p>	<p>〔開会〕</p> <p>【事務局（進行）】 それでは時間になりましたので、第3回八王子市地域保健福祉推進協議会を開催したいと思います。</p> <p>開会に先立ちまして、小林健康福祉部長より挨拶をお願いします。</p> <p>【健康福祉部長】 皆さん、こんにちは。健康福祉部長の小林と申します。よろしくをお願いします。</p> <p>今日は、平成22年度第3回の地域保健福祉推進協議会ですが、新しく任期が始まりますので、前回の協議会から委員を引き続きお願いしている方だけでなく、今回から新たに委員をお願いした方もいらっしゃいますので、八王子市の地域保健福祉計画について、後ほど全体的な概要についても話をさせていただきます。また、八王子市の経済状況等も委員の皆様は、色々なところで見たり聞いたりされていると思います。厳しい財政状況だということは、十分御承知いただいていると思いますが、現在の地域保健福祉計画は、平成24年度までの計画となっています。市の基本構想・基本計画である「ゆめおりプラン」も平成24年度までとなっています。ですから、皆様の任期の中で、新たな計画策定というような作業も出てくるかと思っておりますので、そうしたことも見据えて現況認識も含め、色々な御意見をいただければと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>【事務局（進行）】 就任されて本日初めて推進協議会に出席された方、また引き続き就任されている方もあるかと思っております。恐れ入りますが、まず自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>【赤上委員】 八王子市医師会の会長の赤上です。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>【大山委員】 法政大学の現代福祉学部の大山と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>【沖 委員】 八王子市介護サービス訪問ふれあい員で、高齢者をお訪ねして色々話を聞くボランティア活動をしています。併せて地域で配食サービス、高齢者の方々に食事を週1回配るといったボランティアもしています。沖と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>【小野塚委員】 市民委員の小野塚です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>【佐々木委員】 民生委員・児童委員協議会から選出されました。副会長をしています佐々木です。またよろしくお願いいたします。</p> <p>【塩澤委員】 民間団体の八王子市レクリエーション協会の塩澤です。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>【高瀬委員】 高瀬礼子と申します。今回から、この協議会に参加させていただきます。市民活動協議会からの推薦です。八王子市で24～5年里親をして、自宅で子どもと一緒に過ごしています。よろしくお願いいたします。</p> <p>【土居委員】 八王子ワークセンターの土居と申します。今回から初めての参加</p>
--------------	--

になります。どうぞよろしくお願いいたします。普段は知的に障害のある人たちの地域生活の支援をしているNPOで働いていますが、今回は障害者の方の就労と社会参加を支援するという目的で市内の団体で作っている、NPO法人の代表として出席させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【埴田委員】 八王子障害者団体連絡協議会の代表をしています。今回も引き続きとなりました。私は単刀直入にズバッと言うのですが、先ほどの土居さんの方が理論的だと思います。私どもは障害者団体なのですが、障害者の仕事の関係は、八王子ワークセンターとなっています。引き続きよろしくお願いいたします。

【野山委員】 杏林大学総合政策学部の野山と申します。公衆衛生の中でも、統計的な手法を使って色々な分析をおこなう疫学と健康づくり、そういったことを専門にしています。現在、地域保健福祉計画の中では、食育推進計画と健康福祉サポーターの育成について活動をしているところです。よろしくお願いいたします。

【早川委員】 私は、前期に引き続きまして推進委員ということで、就任させていただきます早川と申します。よろしくお願いいたします。

【室岡委員】 先月16日に、関谷会長の後任として就任いたしました、社会福祉協議会の室岡です。よろしくお願いいたします。

【山口委員】 私は市民委員の山口と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局(進行)】 ありがとうございます。平川委員が出席の予定なのですが、まだお越しになっていません。それと、平塚委員と新たに就任された前田委員のお2人が本日欠席です。全員で16名の推進協議会になります。よろしくお願いいたします。

続いて、推進協議会の事務局を紹介します。

(事務局職員を紹介)

設置要綱を配らせていただきましたが、設置要綱の5条にあるとおり会長と副会長を置くことになっています。会長は委員の中からの互選ということになっていますが、いかがでしょうか。

【佐々木委員】 事務局案ということもあるのですが、今までの会の中で本当に御尽力いただいた、大山委員が引き続いてやっていただけるのが一番良いかなと思いますので、皆さんの御賛同をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局(進行)】 よろしいでしょうか。(拍手) それでは、副会長は会長の指名です。

【大山会長】 赤上委員にお願いします。(拍手)

【事務局(進行)】 それでは、大山委員と赤上委員、会長と副会長に就任ということで御挨拶をお願いします。

【大山会長】 この地域保健福祉計画策定のときから、赤上副会長と一緒にペアでやってきました。その策定が終わった後に、委員の皆さん方も顔なじみの方も沢山いらっしゃいますけども、策定委員会のメンバーは産みの親で、さらに

育ての親もということをお願いしています。ここで、私が引き下がるという訳にもいかないような、元々そういう雰囲気ですので、また、赤上委員にもあうんの呼吸でよろしくということで、副会長をお願いしましたが、今後も、非常に重要な段階に差しかかって来たなと思って、また皆様方の色々な御知恵を拝借したいと思いますので、よろしく願いいたします。

【赤上副会長】 只今、大山会長から、あうんの呼吸だということで副会長に指名いただきました赤上です。よろしくお願いいたします。この地域保健福祉推進協議会というのは、大変に広い分野です。それぞれの立場で皆様から、今までどおり活発な御意見をいただきまして、この推進協議会が益々意義のある会にして行きたいと思っていますので、よろしく御協力の程お願いいたします。

【事務局（進行）】 ありがとうございます。それでは、事務局から協議会の進め方、年間予定等を一括して説明いたします。

【事務局（健康福祉総務課長）】 それでは、協議会の開催、地域保健福祉推進協議会の進め方について説明します。本協議会の開催及び今後の協議会の進め方ですが、はじめに本協議会の設置の経緯について説明します。

平成 20 年 3 月に保健医療・福祉の総合的な計画として、八王子市地域保健福祉計画を策定しました。計画書の 137 ページを御覧いただきたいと思います。この計画書 137 ページの「第 2 章 推進体制の整備」の中で、地域福祉計画、保健医療計画、高齢者計画の進行管理や評価を定期的実施する機関として、市民参加による地域保健福祉推進協議会を設置し、地域保健福祉計画の確実な実施を図るとともに、保健医療・福祉に関して総合的な見地から協議、意見交換などを行うことと示されています。これに基づきまして、平成 20 年 8 月に八王子市地域保健福祉推進協議会を設置しました。第 1 期の協議会の委員さんにつきましては、計画書 186 ページを御覧いただきたいと思います。186 ページにありますように、本計画の策定委員の方々に第 1 期目は就任をしていただき、計画を策定した立場で計画の進行管理をお願いして来ました。

また、資料 1 を御覧いただきたいと思います。資料 1 「地域福祉推進協議会の考え方」にありますように、本協議会の将来的な方向性についても、前期委員さんにつきましては議論をいただいていた。具体的には資料の中程の協議会の方向性にありますように、地域福祉計画を総合的な計画と位置づけ、保健医療計画、高齢者計画、介護保険事業計画、障害者計画、障害福祉計画、こども育成計画の 6 計画に反映すること。また協議会についても、地域保健福祉推進協議会を保健医療・福祉の各分野の連携や総合的な施策展開の協議会として位置づけ、他の 6 計画の進行管理を行う組織を分科会と位置づけています。これについてもまだ案ですが、引き続きこの新しい委員さんの中で議論をしていただきたいと思っています。今回の委員の改選に当たりましては、新たに介護保険運営協議会、子ども政策推進協議会、障害者計画策定委員会等の代表者の方にも参加をしていただき、本協議会を保健医療・福祉の総合的な協議の場として行きたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

次に、委員の皆様方の任期ですが、本年 8 月から平成 24 年 7 月までとなり

ます。先ほど小林部長からも話がありましたように、地域保健福祉計画は平成24年度末までの計画ですので、平成24年度当初には、次期計画の策定についても御意見をいただくような形になるかと思えます。

最後に会議の開催につきましては、基本的に年2回を考えていますが、計画策定の準備など重要な案件がある場合には、臨時の協議会を開催したいと考えていますので、御協力お願いいたします。

以上です。

【事務局（進行）】 御不明な点はありませんか。

それでは議事に入ります。議事進行は会長にお願いします。

【大山会長】 この協議会は定足数9名です。それを上回っていますので、協議会は成立しています。それでは早速議案に入っていきたいと思えます。

最初に本協議会は、通常は公開していますが、今日のメインの議題の中に「保健福祉推進拠点の整備について」という議題があります。これは委員の皆様自由に発言していただくために、これを一部非公開とさせていただきますけれど、よろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

【大山会長】 それでは、早速議題に入っていきたいと思えます。最初の議題、協議事項になっていますけれど、保健医療・福祉の概要について、今日は報告事項とさせていただいて、また色々議論する前に資料を見ていただいて、新しい委員の方もいらっしゃいますので、これくらいのことは心得ていただきたいということで、詳しくは事務局の方から説明させていただきます。それでは最初の報告事項について、事務局からお願いします。

【事務局（健康福祉総務課長）】 それでは、八王子市における保健医療・福祉の概要について、資料2に基づきまして説明をいたします。はじめに、本市の住民基本台帳に基づきます人口及び高齢者の推移について説明をします。

平成22年9月1日現在の人口については55万1,216人、そのうち0歳から14歳までの年少人口は7万3,027人となっています。15歳から64歳までの生産年齢人口は36万4,726人、65歳以上の高齢者人口につきましては11万3,463人となっています。この表を見ていただくとお分かりのように、総人口は年々増加するにも関わらず年少人口については減少傾向にあります。また、高齢者についても年々増加をし、高齢者の人口割合は平成22年度では20.58%となっています。まさに少子高齢化社会となっていることが読み取れるかと思えます。

次に、八王子市第4期介護保険事業計画での平成26年度までの高齢者人口の見込みですが、平成26年度には総人口58万6,747人、65歳以上の高齢者を14万2,613人、高齢化率24.3%と推計をしています。本市の高齢化は益々進むものと予測されています。

次に、社会福祉協議会で実施をしているひとり暮らし高齢者の実態調査の結果について、説明をします。これは65歳以上の高齢者のデータを元に民生委員が個別訪問をしまして、社会福祉協議会や市の事業に反映するための調査を

している資料の結果です。平成 22 年度では 9,910 人、毎年 500 人近くの方が増加をしている状況です。本市でも、やはりひとり暮らし高齢者が今後増加をすることが予測されます。

次に、生活保護世帯の状況ですが、平成 22 年度の被保護世帯は 7,444 世帯で、前年に比べると 935 世帯増加をしています。生活保護世帯の増加については、経済雇用情勢の悪化のため、経済的、社会的に弱い立場にある方々にしわ寄せがされる形で、最も現れているということで、国でも分析されています。本市でも世帯累計で、その他の世帯が増加傾向にあります。これはやはり経済的、社会的弱者の方が、生活保護の申請をされているという状況が読み取れます。

次に障害者の状況ですが、平成 22 年度の身体障害者手帳所持者については 1 万 4,470 人、愛の手帳所持者は 3,209 人、精神保健福祉手帳の所持者は 1,530 人となっています。

次に、平成 22 年 3 月末で市内にある NPO 法人の状況ですが、市内に事務所を持つ NPO 法人は 207 団体で、そのうち保健、医療又は福祉の増進を図る活動をされている団体につきましては、134 団体となっています。今後、地域保健福祉計画を進めていく中で、地域保健福祉計画の目標である、誰もが地域の中で共に支え合い安心して元気に生き生きと暮らすことができるまちづくりを推進するためには、このような NPO 法人・団体との連携が重要になって来るものと考えています。

次に資料 3 を御覧いただきたいと思います。保健医療・福祉に関連した本市の予算・決算の状況について説明をします。まず、一般会計の予算・決算ですが、平成 20 年度では予算額が 1,816 億 1,215 万 17 円となっています。決算額では 1,639 億 2,097 万 4,132 円となっています。これに伴う民生費ですが、平成 20 年度では決算額で 642 億 9,250 万 7,000 円、一般会計に占める割合は 39.2% となっています。18 年度では 37.1%、19 年度では 37.8% で、一般会計に占める割合は年々増となっている状況があります。その後の資料につきましては、民生費の決算構成額、衛生費の推移と、一般会計に占める比率が記載してあります。

説明は以上です。

【大山会長】 今の予算は、市の広報で先日報告されていきましたね。それを私も見て、10 年前位に大体市町村の財政状況で民生費とか衛生費とか教育費、これらを含めて十数年前で 25% 位と、かなり福祉関係予算等が増えて来たというので話題になりました。ところがもうこれは、広報を見てびっくりしたのですけど、衛生費も含めて市財政の 42% です。これに教育費を加えたら 50% 近くではないですか。すると市の財政全体のバランスから見て、毎年々減ることはまず無いです。増えていくというわけです。こういう財政状況のことも視野に入れて、議論をしていただければということです。それで、先ほど健康福祉総務課長が言われた、これからは行政だけでは無く、民間の力も併せて行かなければいけないという点で、特に私は NPO を重視しているので、人口の規

	<p>模から言って、NPO法人が207団体というのは少ないという感じですが。しかも、福祉関係が134団体。相当これからNPO、最近は政府の方では新しい公共とかいう言葉を使って第三セクター、非営利組織というものを強化して行こうと、動きがあります。そういうことも睨みながら、この推進協議会は、総合的に検討する場であって、また色々と資料等踏まえて議論をして行きたいと思います。健康福祉総務課長、資料については何かありますよね。</p> <p>【事務局（健康福祉総務課長）】 現在、健康福祉総務課でまとめている「健康福祉の概要」というのがありまして、平成21年度版は既に全部配付してしまっています。現在、平成22年度版を作成していますので、出来上がり次第、委員の皆様には配付をさせていただきます。この中には、今、会長が言われたように、健康福祉の総合的な事業の具体的なものが掲載をしておりますので、これを見ていただければ今後の議論の参考にもなるかと思えます。次回までに間に合うかどうか分かりませんが、出来上がり次第お配りをさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>【大山会長】 出来れば次回に配付いただければ良いですね。今後、そういう行政の方から色々情報を提供していただけて、議論の素材にいただければと思います。また、委員の皆さん方からも、地域での色々な情報をここに持ち寄って、総合的に検討出来ればと思っています。これは報告事項ですので、一応これで終わりとしします。では、次にいきます。</p> <p style="text-align: center;">～ 以下、議題「保健福祉推進拠点の整備について」は非公開 ～</p> <p>それから、次回に資料として平成22年度の「健康福祉の概要」を配布していただきたいと思えます。その他で何か事務局ありますか。</p> <p>【事務局（健康福祉総務課長）】 開催日程ですが、今回は平成22年度の上半期の数字が出て来ますので、その進行管理を行っていただきたいと思えます。日程は会長、副会長と相談をしながら調整をした上で御連絡いたします。</p> <p>【大山会長】 それでは、以上で閉会とします。ありがとうございました。</p>
<p>会議録署名人</p>	<p>平成22年11月9日 大山 博</p>